国際社会青年育成事業 地域Ⅰ

オーストリア共和国・リトアニア共和国

オーストリア基本情報
首都：ウィーン
面積：8.4万㎢
人口：880万人
公用語：ドイツ語
GDP：4297億ドル（2018）

リトアニア基本情報
首都：ビリニュス
面積：6.5万㎢
人口：281万人
公用語：リトアニア語
GDP：427億5600万ドル（2016）

派遣プログラム

9/18	東京（成田）発 フィンランド（ヘルシンキ）着、発 リトアニア（ビリニュス）着
9/19	リトアニア議会表敬訪問 在リトアニア日本国大使館表敬訪問 欧州委員会表敬訪問
9/20	ユーロデスク訪問 ビリニュス大聖堂見学 KGB博物館訪問 ミッション・シベリア訪問
9/21	リトアニア青年とディスカッションと文化交流 バルティック・アジアによる活動内容紹介
9/22	クライペダ市内観光 Lithuanian Sea Museum訪問 欧州ユース首都キャンペーン CHOOSEクライペダ
9/23	Lithuania Red Cross訪問 クライペダ市長表敬訪問
9/24	杉原千畝記念館訪問 多文化交流センター訪問、日本文化紹介
9/25	UNESCO代表部訪問 リトアニア市民教育センター訪問
9/26	リトアニア（ビリニュス）発 フィンランド（ヘルシンキ）着、発 オーストリア（ウィーン）着

リトアニア議会表敬訪問

リトアニアは1990年3月11日に正式に当時のソ連から独立しました。そのため、議会内には多くのリトアニア独立に関連する写真や記念物があり、リトアニア市民一人一人の自国愛は高いです。独立を勝ち取ったリトアニア市民への誇りが強く感じられる場所です。

ホームステイ

派遣中に2泊3日のホームステイがありました。家族の一員として迎えてもらい、食卓を囲み ました。各団員が一家庭にホームステイしま した。場所は、ウィーン市内やウィーンから 列車で8時間ほどかかる郊外など様々でした。

多文化交流センター

リトアニア青年だけでなく、ロシア青年とも文化交流をしました。私たち派遣団は、よさこい、書道、そしてリトアニア民謡を披露しました。現地の青年と円になり、一緒にリトアニア民謡を歌ったことは一生の思い出です。日本文化を通して、一生涯の友情を築くことができました。

マウトハウゼン強制収容所

長年ガイドしている方にに案内をして頂きました。最大の学びは、各国の歴史認識と歴史教育の違いでした。この違いが、自国のアイデンティティー形成にかかわると実感しました。

ディスカッション

多文化共生社会と自国のアイデンティティーをテーマにワークショップがありました。
参加者が意欲的に参加できるようにさまざまな工夫がされていて、現地の学校の授業を受けているかのような気持ちになりました。

9/27	オーストリア連邦首相府表敬訪問 在オーストリア日本国大使館表敬訪問
9/28	ホームステイ
9/29	ホームステイ
9/30	異文化交流センターにて 多文化共生ワークショップ ビーバー社訪問
10/1	マウトハウゼン強制収容所訪問 （歴史に関する講義）
10/2	ウィール通り全日制小学校にて 日本文化紹介 国際連合本部訪問 在ウィーン国際機関日本政府代表部訪問
10/3	国立音楽大学訪問
10/4	オーストリア（ウィーン）発 フィンランド（ヘルシンキ）着、発
10/5	東京（成田）着

国際連合本部

ホーフブルク宮殿

茶道を紹介

プレゼンテーション

国立音楽大学

異文化交流

知的好奇心の体得

オーストリア・リトアニア派遣団　豊島諒　（大学1年）

私は、高校受験が終わったタイミングでこの事業を親の紹介を通じ知りました。大学受験で燃え尽きてしまい、私はこの先何をすればいいのか、どのように人間的成長を遂げるべきなのか明確に見つからず不安でした。そこで、親の教えを受け、この事業に参加することを決め、そして、無事試験を突破し内閣府代表青年の一員として 本事業に尽力してきました。一番の収穫として考えられるのは、知 的好奇心の涵養です。例えば、オーストリアは第二次世界大戦では 進攻側であり、リトアニアは侵略されていた側であり、両国を訪れ た私は、彼らが第二次世界大戦に向ける歴史観、教育制度の差異に 驚きました。このように、コインの裏表を見るが如く物事の多面性 に気づくと同時に、それを深く学ぼうとする姿勢を体得することが できました。人は環境で変わると言われますが、現地で知り、学び、 発信するプロセスは日本の大学における座学のみでは得られません。是非、皆さんが本事業で人間的成長を遂げてほしいと私は願っています。

これからの目標

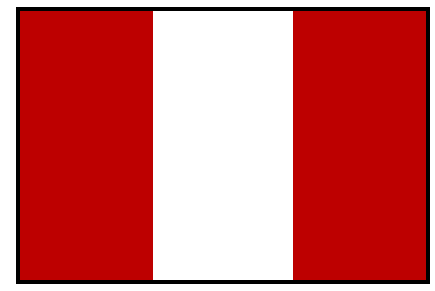
オーストリア・リトアニア派遣団　中間正代（大学2年）

オーストリア・リトアニアでは、全部が日本と違いました。街並み、食べ物、文化、国民性など、日本とは全く異なり、私にとって新しいもので溢れていました。全く異なるものだらけでしたが、全部魅力的で、経験したこと全部が心の底から本当に楽しかったです。「差異があるから楽しい」とオーストリアとリトアニアは教えてくれました。差異がより人の人生と世界を豊かにすると。しかし、現在の世界は差異が発端となり様々な問題が起こっています。だからこそ、本事業を通して深めた「自国のアイデンティティと多文化共生」への熱い想いを胸に、誰一人として取り残されない理想的な多文化共生社会を、本事業で出会った仲間とともに作り上げていくことが、私のこれからの目標です。本事業を通して、一生涯の友情を築きながら、自分の大きな夢を描くことができました。皆さんも、ぜひ、新しい仲間とともに、新しい一歩を踏み出してみてください。

国際社会青年育成事業　地域Ⅱ

メキシコ合衆国・ペルー共和国

メキシコ基本情報
首都：メキシコシティ
面積：196万4375㎢
人口：1億2920人
公用語：スペイン語
GDP：1.15兆ドル（2017年）



ペルー基本情報
首都：リマ
面積：128万5216㎢
人口：3155万人
公用語：スペイン語
GDP：2144億ドル（2017年）

派遣プログラム

9/18	東京（成田）発 メキシコ（メキシコシティ）着
9/19	メキシコ青年庁表敬訪問 及びオリエンテーション 在メキシコ日本国大使館表敬訪問 チャプルテペック城見学 ベジャス・アルテス宮殿見学
9/20	国立災害予防センター（CENAPRED）見学、 及びディスカッション TURIBUSによるメキシコシティ南部の ツアー
9/21	メキシコ国立自治大学（UNAM）の 災害救助犬養成プログラムを視察、 意見交換会 UNAM散策 FIESTA MEXICANA（今年度メキシコ招へい青年団とのパーティー）
9/22	博物館見学 (Museo de Murales Teotihuacanos) テオティワカン遺跡見学
9/23	国立気象局訪問、意見交換会 UNAM地球物理学研究所及び国立地震局訪問（JICA SATREPSの支援先）
9/24	シウダデラ市場見学 フリーダカーロ美術館見学 自主研修
9/25	国家宮殿見学 ソカロ広場、及び大聖堂見学 地質博物館見学 日本メキシコ学院訪問、意見交換会
9/26	メキシコ（メキシコシティ）発 ペルー（リマ）着 オリエンテーション （ペルー文化の紹介）

ホームステイ

リマ近郊にて2泊3日のホームステイを行い、世界遺産地区や博物館の観光・ダンスパーティ・料理などをホストファミリーと楽しみました。日系人の家庭も多く、日本と現地の文化が融合された独特な文化も学べました。

JICAペルー事務所

ここでは災害支援の概要を解説して頂きました。津波予測システムでは、情報技術の不足により地震発生後10分でようやく津波予測を配信しており、時間を短縮することが課題となっていました。

在メキシコ日本国大使館表敬訪問

在メキシコ日本国大使館の高瀬大使から防災を中心に日本とメキシコの協力関係をご説明いただき、青年たちにも激励の言葉をいただきました。

日系人協会（APJ）SWYAA Peru主催の夕食会

日系人協会はペルー在住の日本人や日系人が集まる団体で、SWYAA Peruは内閣府の事業の１つである世界青年の船の同窓会組織です。ここでは、ペルーの伝統的な踊りを見たり日本のお菓子などを紹介し文化交流を行いました。

ディスカッション

ペルー地震研究災害軽減センター（CISMID）で災害の経験を共有したり、2国間の避難訓練や災害に対する教育、防災に関する法整備の違いを比較しました。また、災害が多いにも関わらず、山で暮らしている人が未だに多くその背景として貧困問題がありました。

9/27	在ペルー日本国大使館表敬訪問、 日本国大使館から現地情勢の説明 日系人協会（APJ）訪問 APJ及びSWYAA Peruとの夕食交流会 ホストファミリーマッチング ホームステイ
9/28	ホームステイ
9/29	ホームステイ
9/30	国家防災庁（INDECI）表敬訪問 JICAペルー事務所表敬訪問
10/1	国立工科大学（CISMID）訪問、 意見交換会 インカマーケット見学
10/2	パチャカマック遺跡及び パチャカマック遺跡博物館見学 JICAボランティアと面会 バランコ散策 ラルコ美術館見学
10/3	自主研修 ペルー（リマ）発 メキシコ（メキシコシティ）着
10/4	メキシコ（メキシコシティ）発
10/5	東京（成田）着

在ペルー日本国大使館表敬訪問

国立災害予防センター

文化交流

地質博物館

世界遺産　テオティワカン遺跡

成長するきっかけ

メキシコ・ペルー派遣団　森島佑美（大学院1年）

私はこの事業にずっと憧れがあり、今回念願叶って第一希望の地域への派遣が決まりました。しかし、優秀な団員が集まっていることから、自分が果たして最後までこの事業をやり遂げられるのか、と合格直後は非常に不安でした。
事業を悔いなく終えたいと思った私は、「英語での発言を積極的に行う」ことを目標に掲げました。その中で未熟さを痛感することも多々ありましたが、現地の人々や海外青年と英語で楽しく会話できたことが自信につながり、優秀な団員・海外青年を見て学ぶこともたくさんありました。
この事業は、私が成長するためのきっかけを与えてくれました。この成長をここだけの経験で終わらせず、これからも貪欲に学び続けていきたいと思っています。

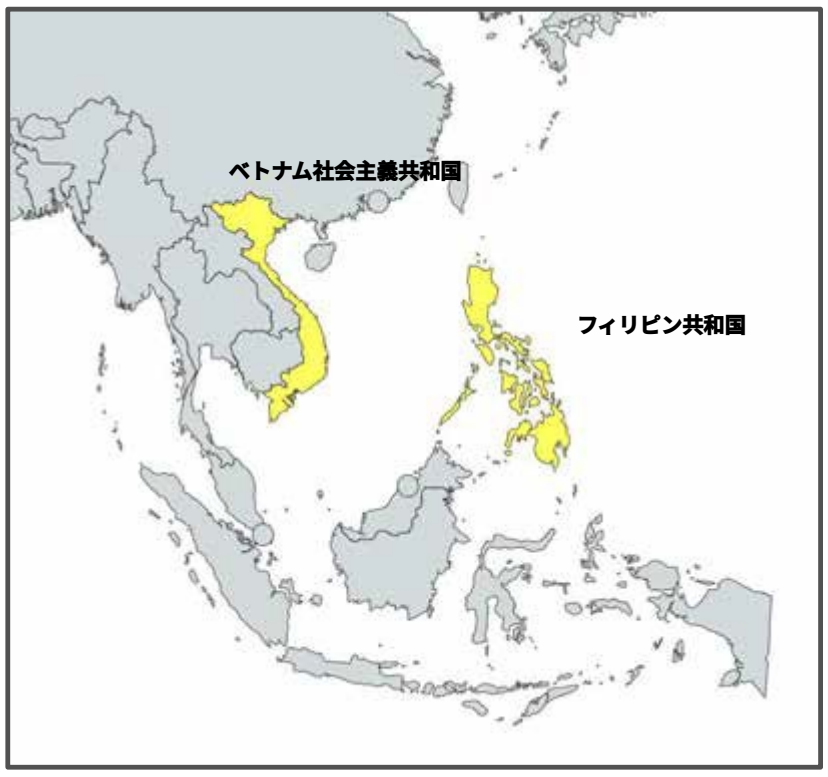
This is my TURNING POINT

メキシコ・ペルー派遣団　古家凌成（大学２年）

私がこの事業に参加して、得られたもの。
それは、“社会で活用できるコミュニケーションツール”です。
1年前の自分は、大学での学びが全てだと思っており、ほぼ学内の関わりしか持っていませんでした。
しかし兼ねてから国際交流に関心があり、昨年応募をしました。
実際事業に取り組んでみると、様々な考えを持つ青年や自分が知らなかったことまで、あらゆる経験を得ることができました。
この事業への参加がきっかけで、現在はいろいろなボランティアやインターンシップへ積極的に参加しています。いずれもこの事業で培われたコミュニケーションツールが十分に生かされています。
世界と繋がる手段はたくさんありますが、“内閣府青年国際交流事業”もひとつ選択肢に入れてみてください！

国際社会青年育成事業 地域III

フィリピン共和国・ベトナム社会主義共和国



フィリピン基本情報
首都：マニラ
面積：29万9404㎢
（7109の島で成り立っている）
人口：1億98万人
公用語：フィリピノ語、英語
GDP: 3136憶ドル（2017年）

ベトナム基本情報
首都：ハノイ
面積：32万9,241 ㎢
人口：9,467万人
公用語：ベトナム語
GDP: 2239億ドル（2017年）

派遣プログラム

9/18	東京（成田）発 フィリピン（マニラ）着 在フィリピン日本国大使館表敬訪問 （フィリピン社会についての プレゼンテーション）
9/19	JICAフィリピン事務所訪問 National Youth Commission表敬訪問 （フィリピンにおける青少年を とりまく課題・対策についての紹介） 歓迎夕食会
9/20	海外雇用庁表敬訪問 （海外で働くフィリピン人に対する 政策についての紹介） 労働雇用庁表敬訪問 （フィリピンにおける雇用問題についての質疑応答）
9/21	GK Enchanted Farm Innovations訪問 （事業概要紹介・施設見学、 フィリピン料理作り体験） Ayala Molls Vertis North視察
9/22	フィリピン青年との ディスカッション合宿1日目 日本文化紹介プレゼン・ パフォーマンス披露 日本体験ブースにて交流 フィリピン青年による パフォーマンス披露
9/23	フィリピン青年との ディスカッション合宿2日目 ディスカッション・セッション① ディスカッション・セッション② フィリピン文化紹介
9/24	フィリピン青年との ディスカッション合宿3日目 ディスカッション・セッション③ フィリピン青年との市街散策
9/25	国立人類学博物館視察 移動、古都イントラムロス散策 歓送会
9/26	フィリピン（マニラ）発 ベトナム（ハノイ）着

ホームステイ

3泊4日のホームステイを経験しました。どのホストファミリーも親切で、有名な観光地やレストランなどに連れて行ってくれました。ベトナムの家庭料理や生活を実際に体験することができ、貴重な経験となりました。

NGO団体訪問

フィリピンの低所得層支援を行うNGO団体。貧困地域での住宅建設や起業支援を行う。実際に支援によって起業したソーシャルビジネスの一環であるぬいぐるみ作りやライスケーキ作りを体験しました。

ハノイ高等技術訓練校訪問

就職のための実践的な技術を身につけることのできる専門学校。機械工学の実習や授業風景の様子を見学した。ベトナムにおいては、職業訓練校が専門的な職業を学び実践経験を積むことにおいて非常に重視されていることが分かった。

文化交流

各国の文化や地域についてのプレゼンテーションを行ったり、書道、けん玉、おりがみなどの日本の伝統的な遊びを体験してもらいました。文化交流を通じて現地の青年たちとより仲を深めることができました。

3日間のディスカッション

フィリピン人青年とグローバルな社会課題について議論しました。お互いの国の抱える問題や状況の相違点を認識し、これからどのようにその問題について向き合うべきか話し合いました。多様な価値観に触れることができ、視野が広がりました。

9/27	ベトナム共産青年同盟表敬訪問 在ベトナム日本国大使館表敬訪問 ベトナム労働傷病兵社会省表敬訪問 ホームステイマッチング後、 ホストファミリーと夕食会 ホームステイ
9/28	ホームステイ
9/29	ホームステイ
9/30	ハノイ高等技術訓練学校訪問 （施設見学・概要説明、 歓迎レセプション） 水上人形劇鑑賞
10/1	フート省職業短期大学訪問 （学校概要説明・質疑応答） フン寺見学
10/2	JICAベトナム事務所訪問 労働社会大学訪問 （大学と学部の概要説明・質疑応答、 日本紹介プレゼン・ パフォーマンス披露・学生との交流）
10/3	チャンアン名勝・遺跡群視察 ベトナム青年と市街散策
10/4	バッチャン村訪問 ベトナム招へい青年と歓送昼食会 イオンモールロンビエン視察
10/5	ベトナム（ハノイ）発 日本（成田）着

フィリピン人青年との交流

ベトナム人青年との交流

海外青年との交流

ベトナム世界遺産
チャンアン

ホームステイ

PERSPECTIVE

フィリピン・ベトナム派遣団　齊藤喬　（大学3年）

日本と大きく異なる独自の視点を導入して社会政策を立案している現地の官僚、家庭料理を毎食作ってくれベトナムの社会や政治の見方を教えてくれたホストファミリー、当事者意識を持ち社会に向き合っている現地で暮らし働く多くの人々、高い目標・ビジョンを持ち精力的に社会貢献活動に携わっている海外青年、多様なバックグラウンドや考えを持つ個性的な派遣団員。
彼らと出会い、彼らの優しさに触れながら、たくさん会話し共に互いの国の社会や文化を観察しました。この経験を通して、私は、今までになかった新しい視点や考え方を得ることができました。これらの成果は、将来私が国際社会を分析し探究していく中で必ず役に立つものであると確信しています。

かけがえのない出会い

フィリピン・ベトナム派遣団　齋藤智子　（大学3年）

世界には強い意志を持って生活している青年がたくさんいます。社会課題に当事者意識を持って大学に通う青年たち。環境問題に取り組むNPOに実際に勤めている青年。日本にいると出会えないような青年たちとのたくさんの出会いの中で、私は希望を持つことができました。このような青年たちと仕事ができるように私も頑張ろうと改めて思うことができました。私はこのたくさんの出会いを通して、新しい価値観に触れ、自分の進むべき将来の道が何なのか、改めてじっくりと考える機会をもらいました。かけがえのない出会いをするために、みなさんも一歩世界へ踏み出してみませんか？